

山中温泉芭蕉祭 9月1日、芭蕉の館(☎0761・78・1720)で、三味線演奏家本條秀太郎氏が芭蕉の句に曲をつけて演奏する端唄コンサートを開催。続いて本條氏一門、地元愛好者らが毎年恒例の「山中節道中流し」=写真=を行う。



Q 菊にまつわる次の言葉のうち、秋の季語を二つ選んでください。(上級)
①菊の酒 ②霜の菊(油菊)
③菊日和 ④菊根分け

季節の
「ことば」

検定

A

正解はまず①菊の酒。旧暦9月9日の重陽ちやうようの節句に、長寿を願って日本酒に菊の花を浮かべて飲んだことにちなみます。明治になってからの新暦では、9月9日はまだ菊

の花が盛んに咲いておらず、日常生活には縁遠い習慣になりました。元禄2年7月27日(新暦1689年9月10日)から石川県加賀市の山中温泉に8泊9日滞在した松尾芭蕉は、へやまなかや菊はたおらじ湯のほひと称たえました。菊を手折らずとも、湯の匂いだけで効能は十分というわけです。山中温泉は毎年9月中、芭蕉来訪にあわせた全国俳句大会、茶会、俳画展などの「芭蕉祭」でにぎわいます。

もう一つの正解は、菊の花が盛んに咲く頃の秋の好天気を言う③菊日和です。菊も品種によって、夏、秋や冬など咲く時期は様々、寒くなってから咲く②霜の菊(油菊)は冬の季語。菊の古株から新芽を分ける④菊根分けは春の季語です。(平井義一、山中温泉 芭蕉の館館長)